

授業科目名：	教員の免許状取得のための 必修科目（中学社会） 選択科目（高校地歴）	単位数： 2単位	担当教員名： 林 亮
歴史概説Ⅱ			担当形態： 単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校 社会、高等学校 地理歴史）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・日本史・外国史 ・外国史		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標			
授業のテーマ 高等学校の地理歴史科、あるいは中学校の社会科の教員を目指す者が、世界史の最新の研究成果を踏まえた歴史展開の概要を学び、歴史的思考能力を修得する。			
到達目標 ・どのような出来事が、どのような順番、因果関係をもって起きたのかを具体的に述べるができる。 ・それぞれの出来事が、どのような意味を持つのかを説明できる。 ・世界の歴史を背景として把握した上で、世界全体に関わる諸問題について評価することができる。			
授業の概要			
世界史として、各時代の歴史的展開（縦軸）と各地域の歴史的展開（横軸）の、相互の関係性（因果関係、相関関係）に留意しながら概観する。現行の学習指導要領に準拠し、歴史に対する「問い」を見いだせる思考能力の基礎を養う。			
授業計画			
第1回：世界史学修の意義と基礎用語 第2回：（古代・中世1）地域世界の形成 第3回：（古代・中世2）地域世界の再編 第4回：（古代・中世3）地域世界の交流 第5回：（近世1）近世世界のはじまり 第6回：（近世2）大航海時代 第7回：（近世3）アジア伝統社会の成熟 第8回：（近代1）ヨーロッパの成長 第9回：（近代2）近代化の広がり 第10回：（近代3）アジアの動揺と変化 第11回：（現代1）帝国主義と第一次世界大戦 第12回：（現代2）「戦間期」と第二次世界大戦 第13回：（現代3）冷戦と民族独立の時代 第14回：（現代4）現代世界の光と影 第15回：世界史学修の発展 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
スクーリングでは、主に授業計画における第1回～第3回、第5回、および第15回の内容を扱う。			
テキスト			
大阪大学歴史教育研究会編『市民のための世界史 改訂版』大阪大学出版会、2024年 978-4872598001			
参考書・参考資料等			
東京大学教養学部歴史学部会編『東大連続講義 歴史学の思考法』岩波書店、2020年 978-4000614061			
学生に対する評価			
スクーリング評価（25％）、レポート評価（25％）、科目修得試験（50％）			